

モリト株式会社

個人投資家向けIRセミナー

東証プライム 証券コード 9837

2023年4月

あたりまえに、新しさ。 MORITO

目次

■ モリトってどんな会社？	p. 02
■ 事業・商品紹介	p. 06
■ モリトのここがすごい！	p. 12
■ 業績概要	p. 21
■ 成長に期待！これからのモリト	p. 25
■ 株主の皆さまへの還元	p. 35

モリトってどんな会社？

会社概要

モリト株式会社（東証P・証券コード:9837）

MORITO

あたりまえに、新しさ。

1908年 大阪で創業
日常生活に欠かせない
小さなパーツをグローバルに展開

経済的ショックの時も
赤字にならなかった安定した業績

アパレル・スポーツ・
自動車向けなど、
様々な市場での販売網

ハトメ・ホック、
マジックテープ®など、
国内・世界でのトップシェア多数

※当社調べ

モリトの役割

「繋ぐ・留める・飾る」をコンセプトに、製造機能も併せ持つメーカー的商社。
洋服をはじめバッグや靴、自動車など、あらゆる業界向けに様々なパーツの企画開発・製造・調達・
販売・顧客の生産フォローまでを一貫して行う。

創業初期からの主力商品



ハトメ

※ハトメ:靴・衣類などに紐を通す穴に
取り付ける環状の金具



靴ひも



ホック



マジックテープ®



アパレル関連事業



プロダクト関連事業



輸送関連事業

数字でみるモリト

< 2022年11月期 >

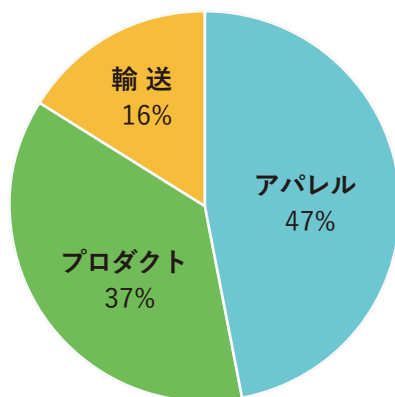
売上高 484億円
営業利益 21億円
純利益 16億円

< 株主還元 >

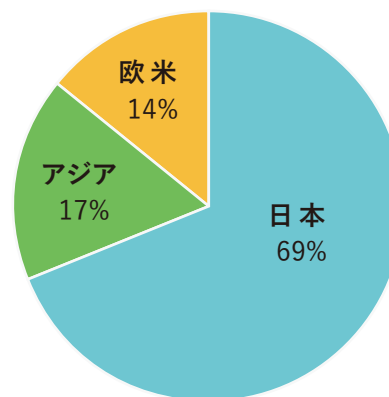
DOE目標4.0%
配当性向50%以上
配当利回り5.3%

※配当利回りは2023年3月の終値(1,022円)で算出

事業別売上構成 アパレル・プロダクト・輸送



地域別売上構成 日本・アジア・欧米



(2022年11月期)

事業・商品紹介

アパレル関連事業

国内外の有名アパレルブランド向けに商品を多数販売。

国内有名アパレルブランドの1つでは、100%モリトのホックを採用。



アパレル関連事業 ワーキング・スポーツ

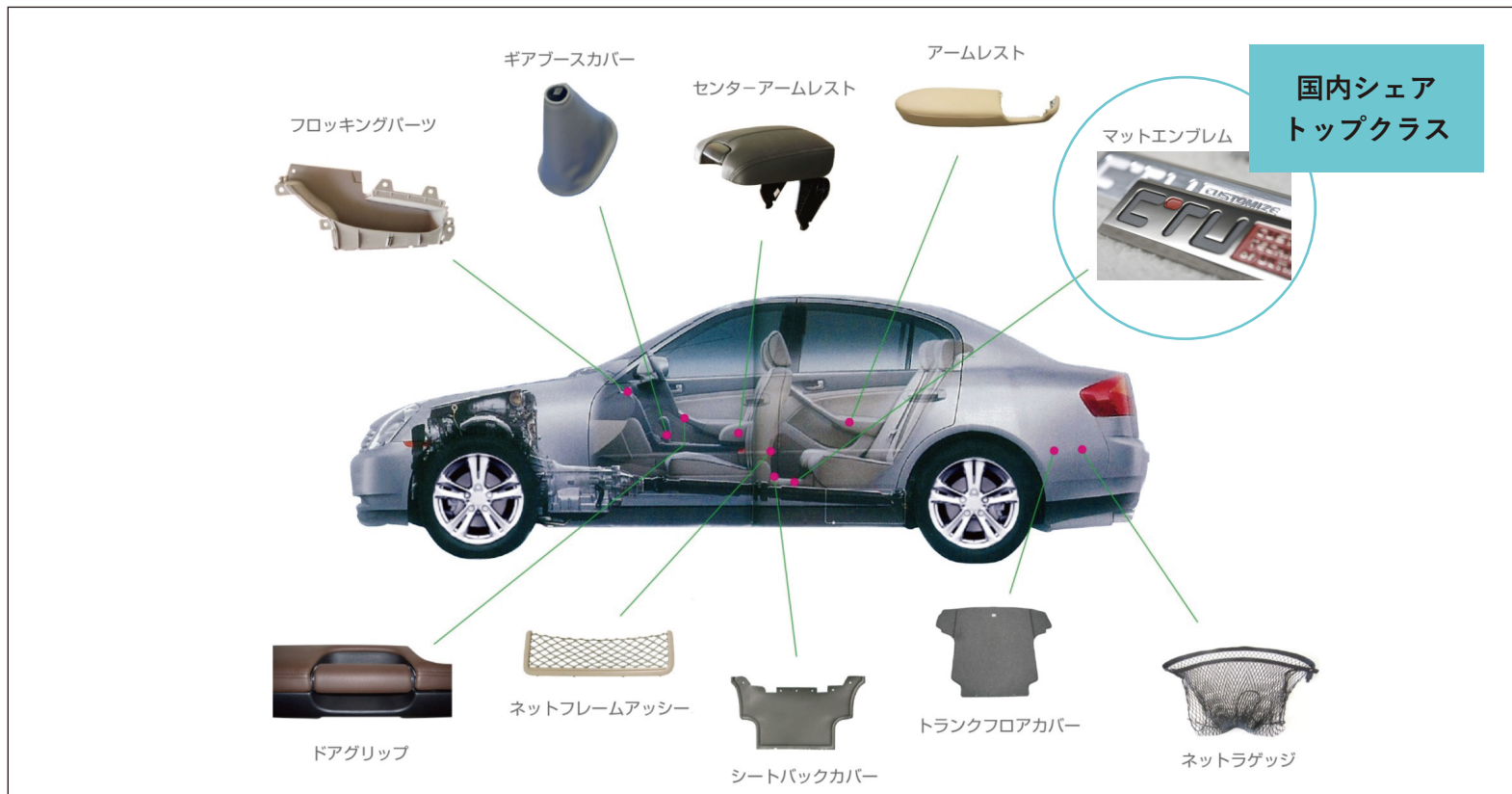
機能性・安全性に優れたものなど、高付加価値商品が強み。

→ファッション業界だけでなく、ワーキングウェア・メディカルウェア・スポーツ・アウトドア業界向けの商品も多数、流行に左右されない安定した需要あり。



輸送関連事業

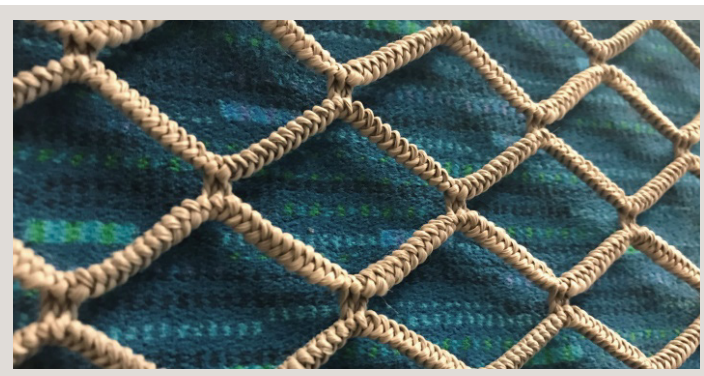
カーマットにハトメが使用されたことが始まりで、国内自動車メーカー向けを中心に自動車内装部品を取り扱う。内装部品を扱うため、EVへ移行しても需要が見込まれる。



輸送関連事業 新幹線

新幹線の座席前に付いているネット状のポケットもモリトグループの商品。結び目のない特殊な製法で作られているため、物の出し入れをスムーズに行えるストレスフリーな商品。

(拡大)



プロダクト関連事業

機能・耐久性・企画力が評価され、ランドセルメーカー向けのパーツの販売、シューケア商品・サポーター・防水素材バッグの自社ブランド商品を販売。

五輪競技として注目された、サーフィン・スケートボード・スノーボード関連商品の輸入販売も。



ランドセル



防水素材バッグ ZAT®



CHANNEL ISLANDS



NITRO®



インソール・防水スプレー



自社ブランド サポーター



etnies®



SHAKE JUNT

モリトのここがすごい!

モリトの強み

流行に左右されない、生活必需品向けのビジネスが多数

+

ポートフォリオが分散して安定した業績

+

製造・調達・販売をグローバルに展開

+

ニッチ分野をターゲットに、多彩なアイテムで高シェアをマーク



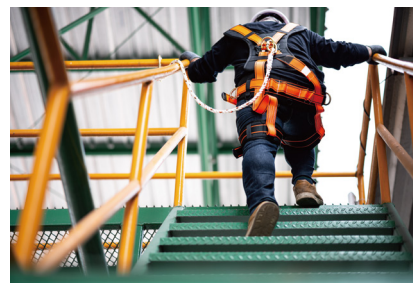
グローバルニッチトップ

流行に左右されない、生活必需品向けのビジネスが多数

日常生活に欠かせないもののパーツを扱っているため、流行・景気に左右されにくく、継続的に販売ができるビジネスが多数。官公庁向けの商品などもあり。



ベビーウェア



ワーキングウェア・ハーネス



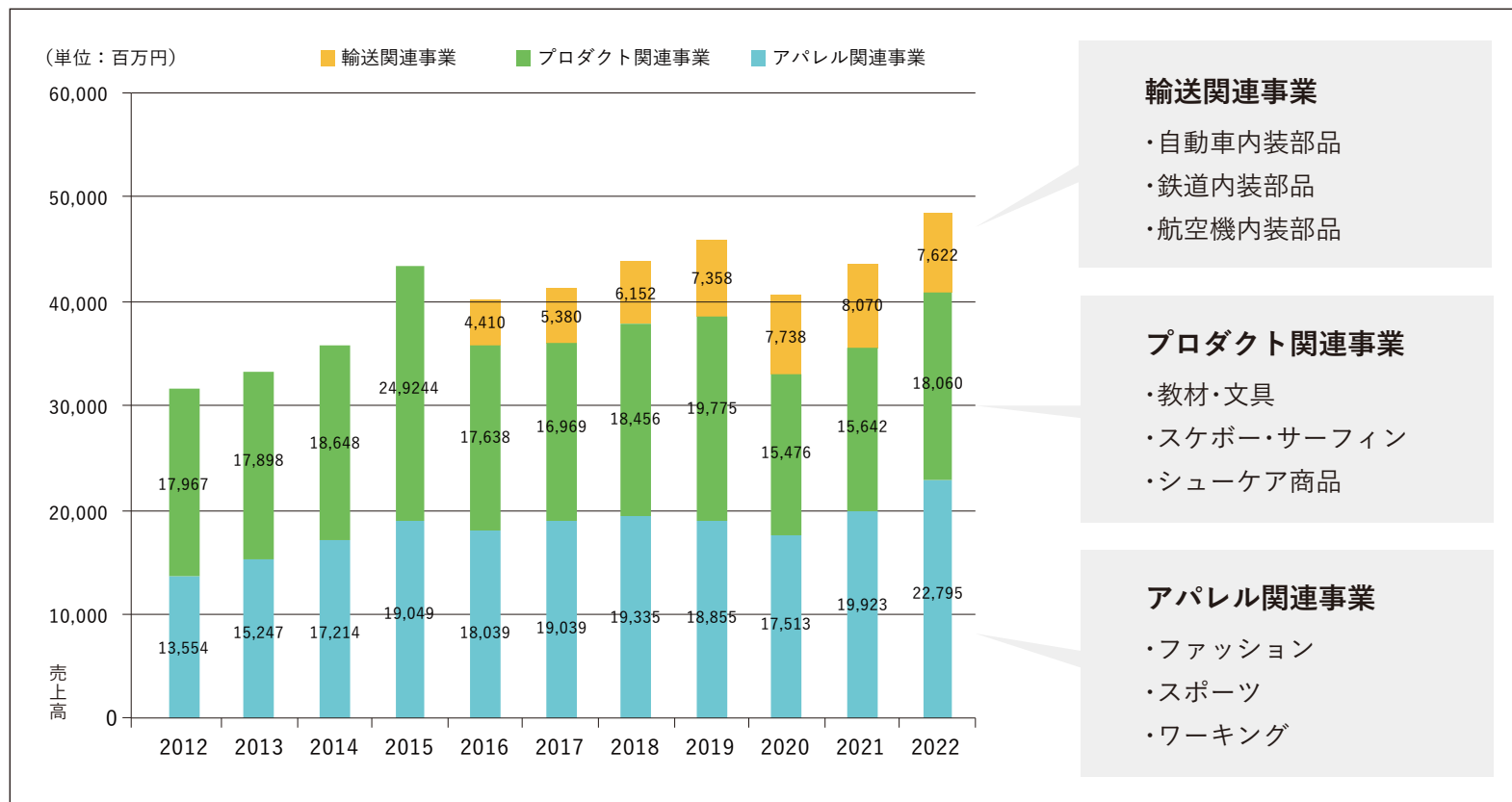
ランドセル



インソール

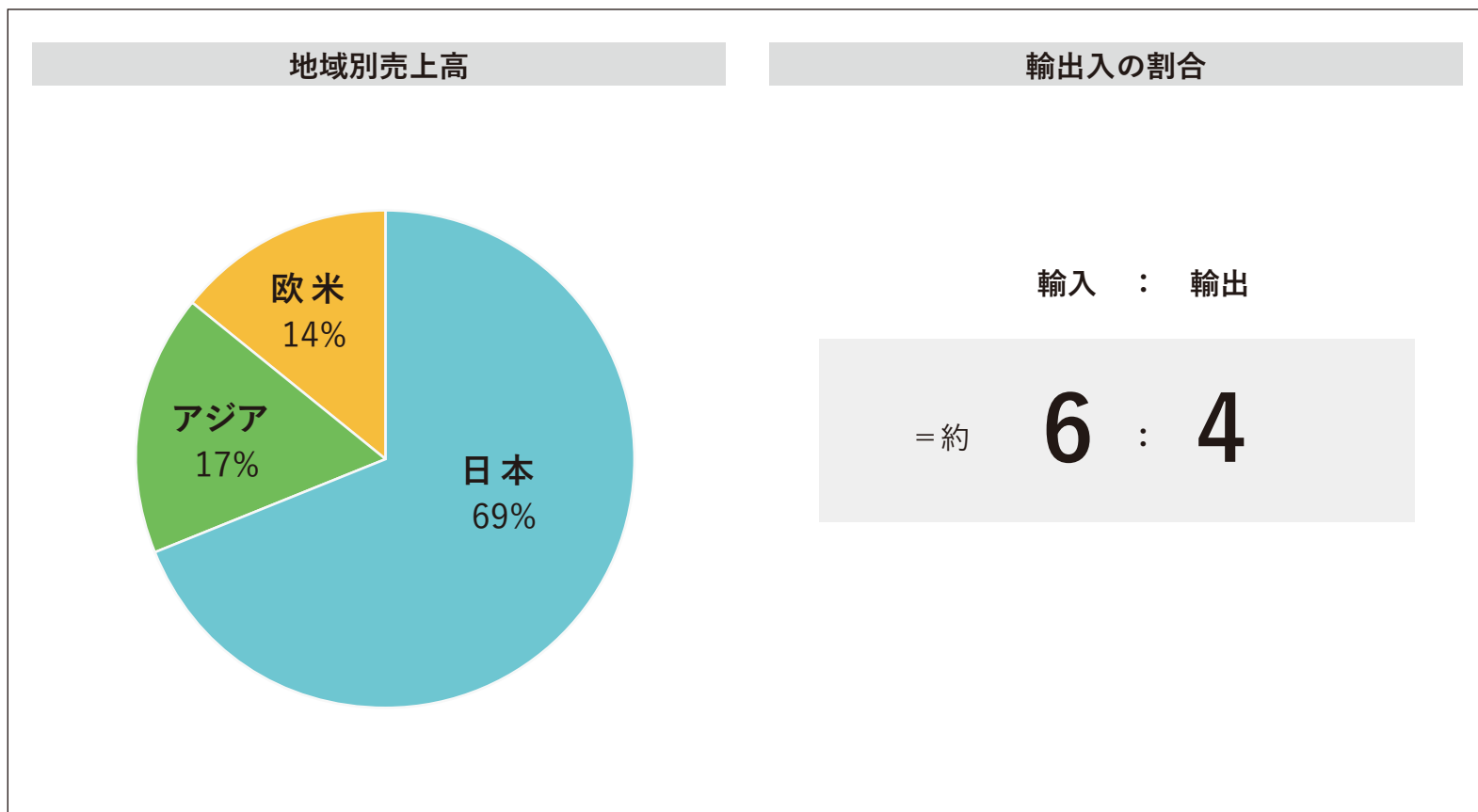
ポートフォリオが分散して安定した業績

- 1 3つの事業、多様な業界向けの商品でポートフォリオが分散
 → 特定の事業・商品の実績に業績が左右されない



ポートフォリオが分散して安定した業績

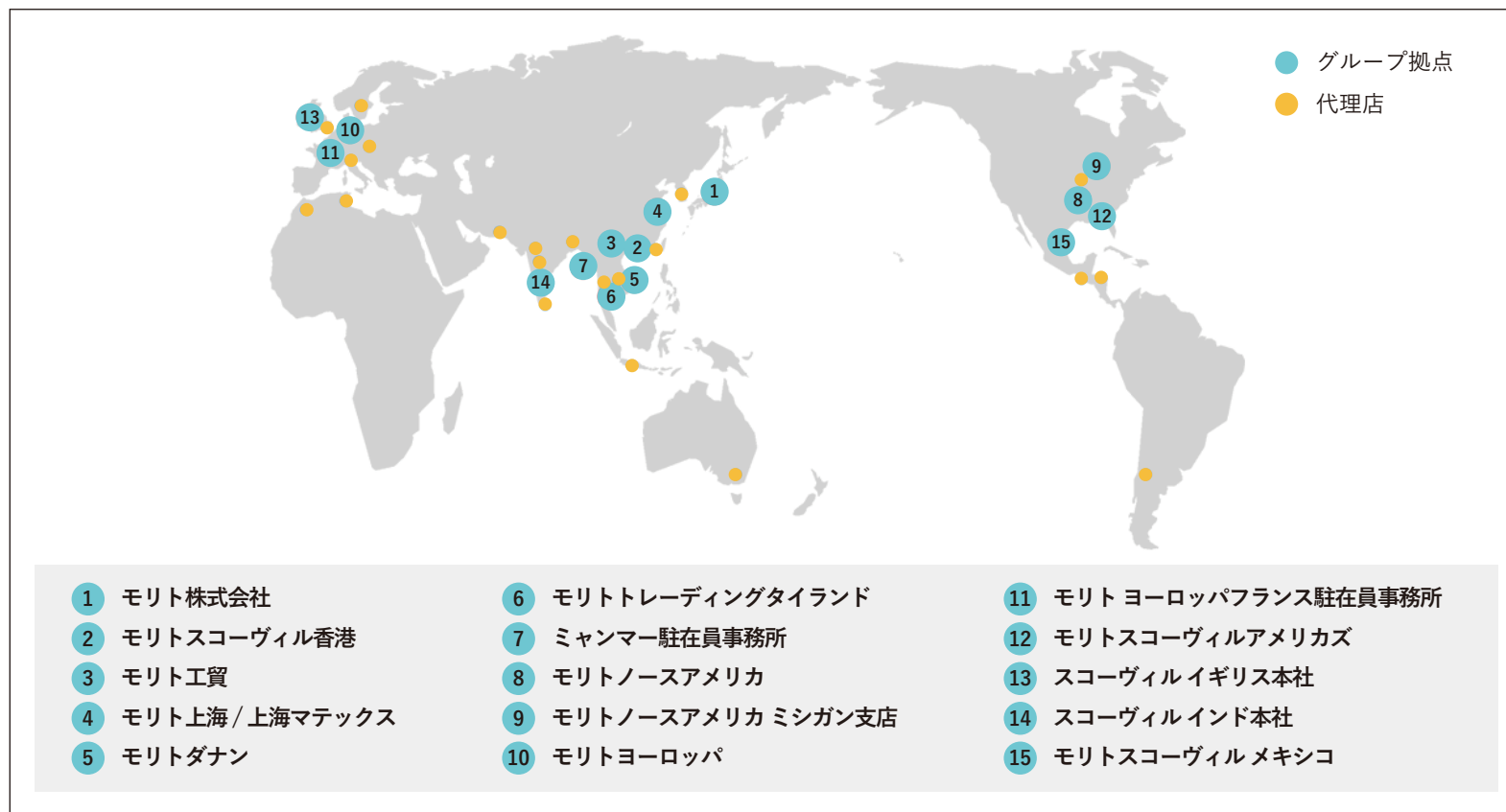
2 ワールドワイドに事業を展開し、輸出入の両方を手掛ける → 為替・地政学リスクへのヘッジ



製造・調達・販売をグローバルに展開

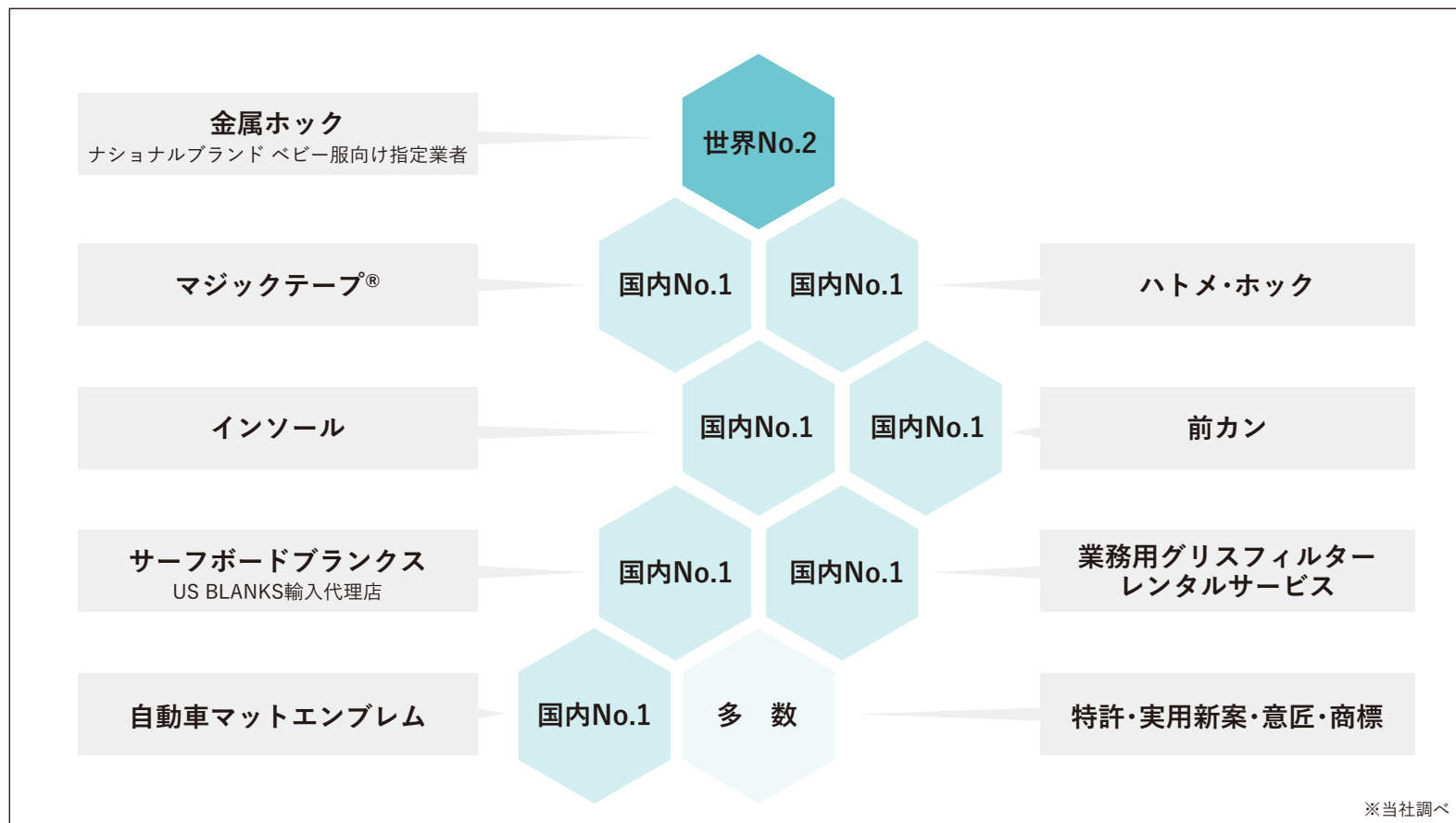
製造・調達・販売網が世界各地に広がる。

協力工場・代理店も世界各地にあり、あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。



ニッチ分野をターゲットに、多彩なアイテムで高シェアをマーク

ニッチでありながら、日常生活に欠かせないパーツのシェアを国内外で獲得。



なぜ高シェアなの？

- 1 顧客ニーズに合わせたパーツの開発・選定から、商品完成までのサポート体制を確立し、グローバル規模で常に安定した品質管理を徹底

(1) 顧客ニーズのヒアリング

(2) ニーズに合った商品提案 or 商品開発
オリジナル商品・パーツを開発

(3) 顧客の生産工場のホック打ち付け機
メンテナンス・操作指導

(4) 商品不良など万が一のトラブル時に、
国内外の拠点スタッフが直接顧客の
工場などに訪問、サポート



なぜ高シェアなの？

2 世界各国の品質基準を網羅した、安心・安全な商品を提供

アジア・ヨーロッパなど、地域によって異なる品質基準をクリアできる高品質な商品を提供。ベビー服、ワーキングウェア、メディカルウェア向けの付属品など、高い品質を求められる業界でシェアを獲得。



業績概要

2022年11月期 通期業績サマリー

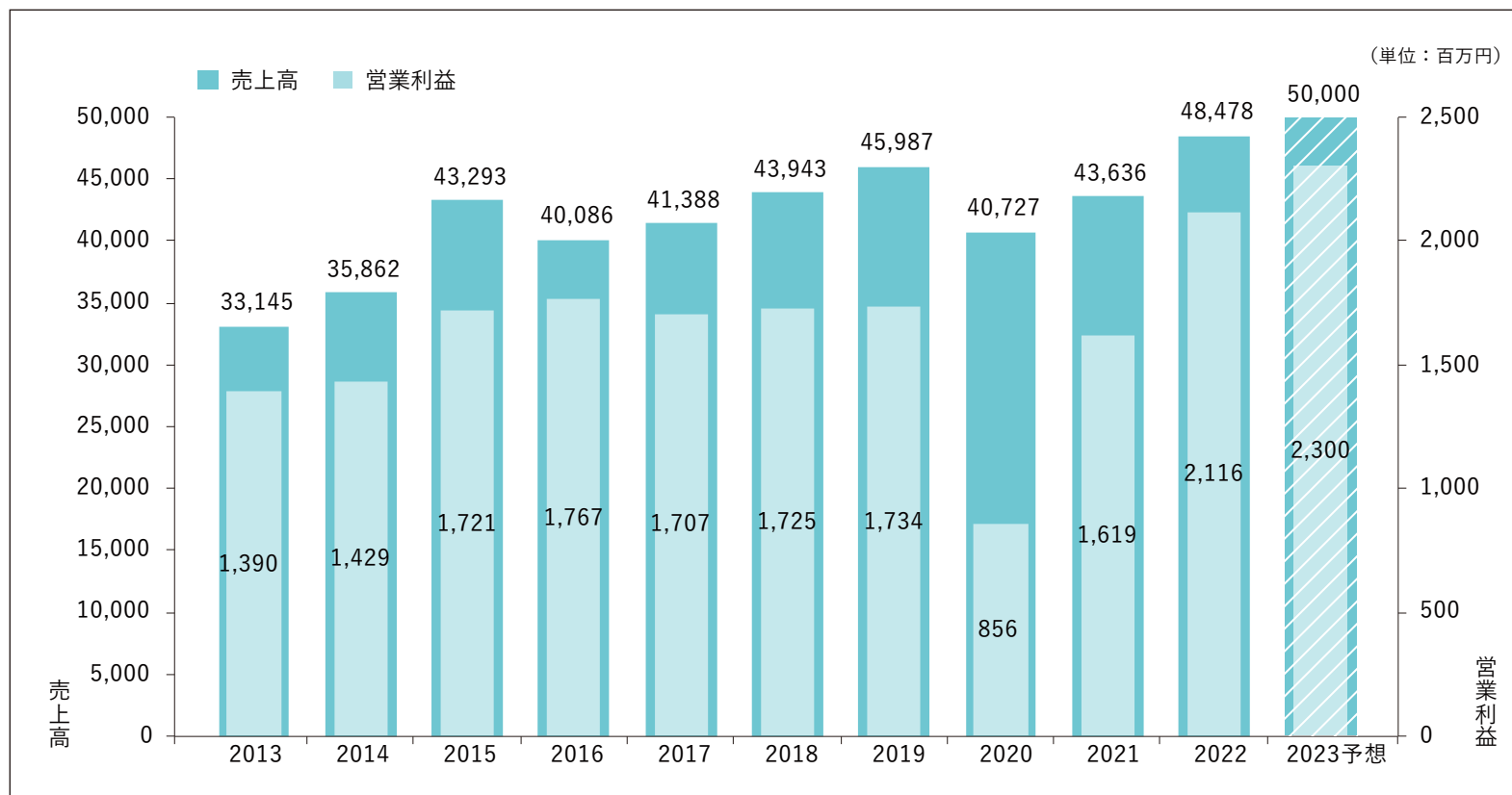
(単位：百万円)

	2021	2022	増減	前期比
売上高	43,636	48,478	+4,842	+11.1%
売上総利益	11,401	12,487	+1,086	+9.5%
売上総利益率	26.1%	25.8%		
経費	9,781	10,370	+589	+6.0%
経費率	22.4%	21.4%		
営業利益	1,619	2,116	+497	+30.7%
営業利益率	3.7%	4.4%		
経常利益	1,834	2,342	+508	+27.7%
経常利益率	4.2%	4.8%		
当期純利益	1,407	1,674	+267	+19.0%
当期純利益率	3.2%	3.5%		

売上高と営業利益の10年の推移(連結)

2022年度に、売上高は過去最高を達成。

2023年度は、売上高500億円・営業利益23億円、共に過去最高を目指す。



2022年11月期 連結貸借対照表

	2021	2022		2021	2022
資産の部			負債の部		
流動資産	26,957	30,481 (+3,524)	流動負債	7,507	9,309 (+1,802)
固定資産	18,980	19,790 (+810)	固定負債	4,515	4,278 (-237)
資産合計	45,938	50,271 (+4,333)	負債合計	12,023	13,587 (+1,564)
			純資産の部		
			株主資本	31,477	31,860 (+383)
			その他の 包括利益累計額	2,381	4,768 (+2,387)
			純資産合計	33,914	36,684 (+2,770)
			負債純資産合計	45,938	50,271 (+4,333)

資産のうち、
「現金及び預金」
10,399

負債のうち、
「有利子負債」
1,753

↓
実質無借金経営

自己資本比率
72.9%

成長に期待！ これからのモリト

中長期方針 モリトが目指す姿

小さなパーツで世界を変え続ける、グローバルニッチトップ企業

第8次
中期経営計画

事業戦略

- BtoC 市場への参入・強化
- 各市場のグローバルシェア No.1 へ
- 経営・製造・調達の現地化、新規拠点設立
- 製造会社への設備投資、生産効率化
- M&A の実施
- 高付加価値商品（安心・安全・健康・環境配慮の取り組み）

コーポレート戦略

- IT 技術を活用した製造・業務・営業活動支援
- 運用・調達マネジメント強化による健全な財務体質の構築
および資本効率の改善
- SDGs を意識した企業経営

2020年～
2021年

コロナ禍における 事業体制構築

- 経費の見直し
- 収益性の強化
- 不採算事業の見直し

第8次中期経営計画 環境配慮の取り組み Rideeco (リデコ)

第8次中期経営計画の中でも特に注力。様々な業種・業界の方と協力し合うことで、サステナブルな社会の実現を目指した取り組み。

新たな高付加価値商品が生まれ、アパレル・鞆・自動車業界などでの新規採用も多数。



Relation 新たな価値の創造に向かって様々な業種、業界と関係性を構築し力を合わせる

Initiative 傍観者ではなく、自らがサステナブルな社会に向かって取り組む

Devote 短期的な利潤の追求だけではなく、未来の社会のために自らの知恵を捧げる

Energy そして根気よく、力を込めて活動する



東京ヴェルディ女子ホッケーチームと、廃漁網を活用した生地で、スポーツ関連商品を共同開発

▶ <https://www.morito.co.jp/sustainability/>

第8次中期経営計画 環境配慮の取り組み① 廃漁網の活用

日本に漂着するプラスチックごみの総重量の内、約40%が廃漁網・ロープとされています※。その廃漁網をリサイクルした素材を使用した資材を開発・販売。採用・引合いが増加し、売上規模は拡大中。新商品開発にも注力。



※ 平成28年度の環境省による海洋ごみの調査。

第8次中期経営計画 環境配慮の取り組み② 混抄紙 ASUKAMI®

縫製工場ではぎれなどを原料とした混抄紙(こんしょうし)ASUKAMI®。
食品や植物などの天然繊維だけでなく、化学繊維を原料として活用できることが最大の強み。
株式会社ワールドの下札・封筒・名刺に採用され、大学などとの産学連携の取り組みも実施。



第8次中期経営計画 M&Aの実施

M&Aを重要戦略として位置づけ、積極的な取り組みを実施し、事業領域の拡大・グループ間でのシナジー効果を創出。

M&Aの実施方針

- 1 ニッチトップであること
- 2 当社と関連する事業領域であること
- 3 成長性・相乗効果が見込めること



M&Aの実績

- 2014年 株式会社マテックス
(アパレルメーカーに対する副資材の調達)
- 2014年 米国スコヴィル社
《現:モリトスコヴィルアメリカズ》
(ホック、ボタン、ジッパーを始めとする服飾資材の製造及び販売をグローバルに展開)
- 2018年 株式会社マニューバーライン
(マリンレジャー、スケートボード、スノーボード、アパレル用品等の輸入販売)



第8次中期経営計画 BtoC市場への参入・強化 52 BY HIKARUMATSUMURA

デザイン性のある高価格帯のバッグを販売するオリジナルブランド。
中国などアジア圏からの購入も拡大し、インバウンド需要に期待。
ライブ配信による販売なども実施。

<https://52byhikarumatsumura.com/>



<POP-UP STORE>



阪急うめだ本店



<コラボ商品>



Aquascutum WHITE LABEL



LUNASOL

第8次中期経営計画の一部変更（～2026年11月期）

主な変更ポイント

- 1 サステナビリティ方針の策定 ▶ <https://www.morito.co.jp/sustainability/>

- 2 資本政策の変更

企業活動に必要な資金を長期的な視点で安定的かつ効率的に調達運用するため、偏りのない安定的な財務資本構成を構築する

< 施策 >

- (1) 中長期的な資本効率(ROE)の向上 → 効率的経営の実践
- (2) 業績連動性に安定性も付加した株主還元 → 適切な利益分配
- (3) 資産効率の改善 → BSの圧縮とCF創出および資金の積極投資
- (4) 資本構成の適正化 → 財務レバレッジなどの活用

第8次中期経営計画の一部変更（～2026年11月期）

主な変更ポイント

3 株主還元策の変更

投資案件および財務状況を勘案の上、下記の「利益配分に関する基本方針」のもと決定（2023年11月期より）

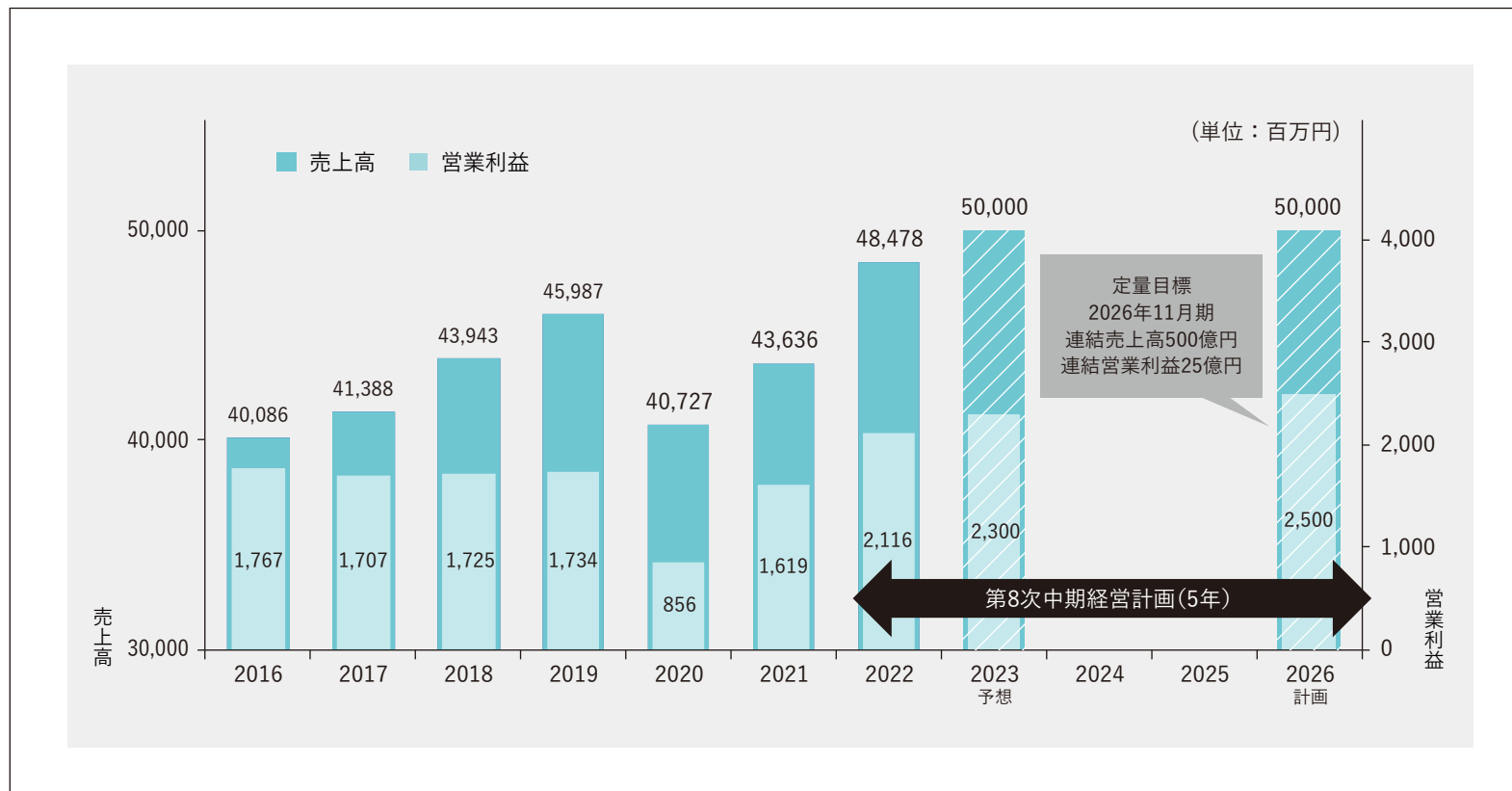
- ・安定的かつ継続的配当の実現
- ・親会社株主に帰属する連結当期純利益に対する連結配当性向50%以上
- ・連結自己資本配当率(DOE) 目標4.0%

ただし、特別な損益等の特殊要因により税引き後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度につきましてはその影響を考慮し配当額を決定いたします。

第8次中期経営計画の一部変更（～2026年11月期）

2022年度～2026年度で、売上高500億円、営業利益25億円を定量目標として定める。

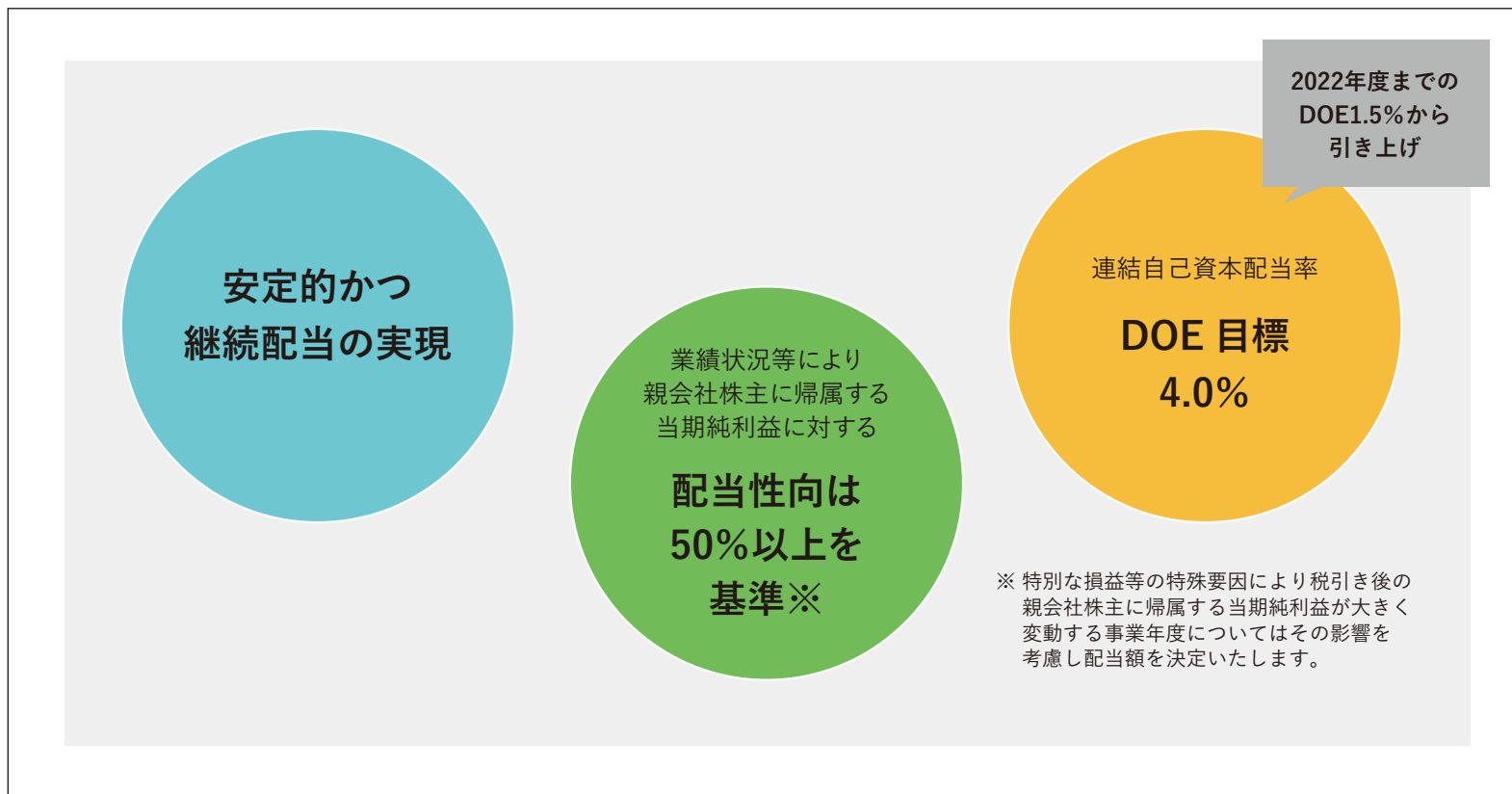
※ 売上高・営業利益共に目標数値に早期達成した場合は、見直しを実施。



株主の皆さまへの還元

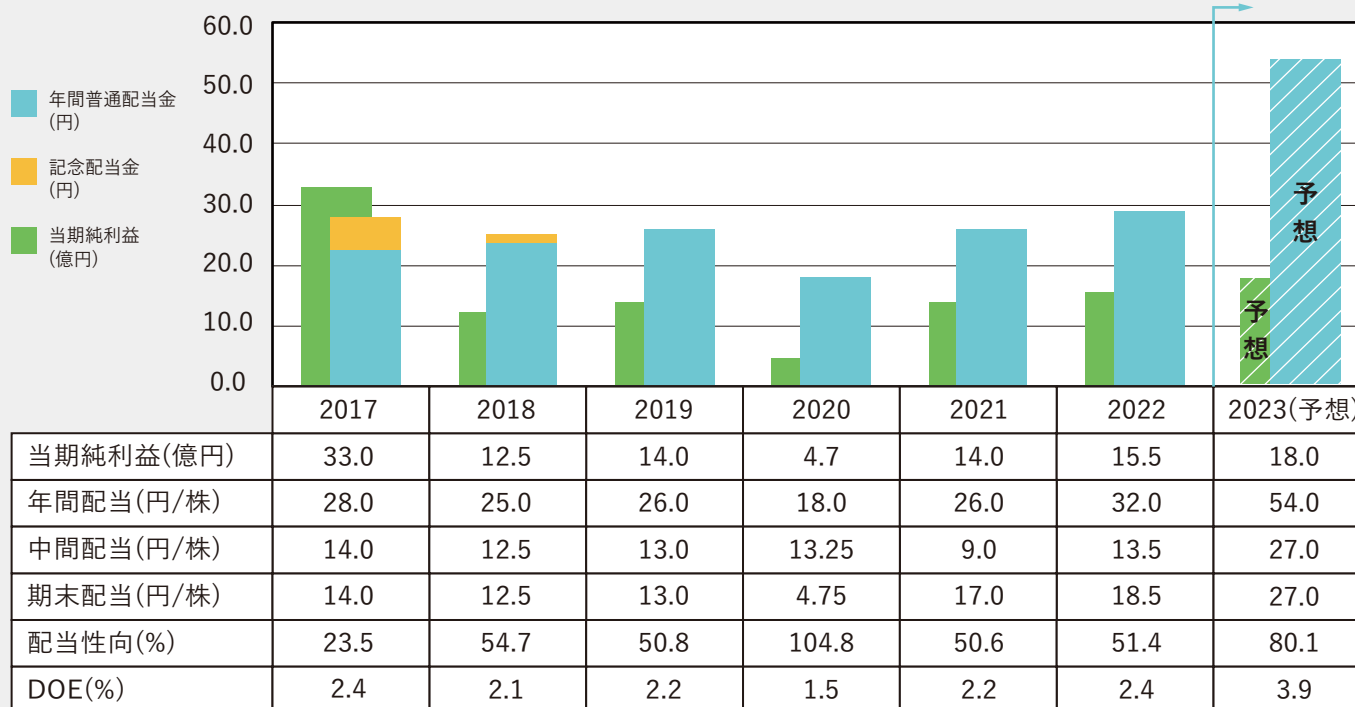
利益配分に関する基本方針

株主に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと位置付け、投資案件および財務状況（純資産等）を勘案の上、下記の方針に基づき、配当額を決定。（2023年11月期～）



配当金・配当性向・DOEの推移

2023年度より、利益配分に関する基本方針を変更



まとめ

✓ 生活に欠かせないパーツ

✓ グローバルニッチトップ

✓ 環境配慮の取り組みRideeco

✓ 実質無借金経営

✓ 安定した業績

✓ 高配利回り

モリトの株式情報

会社名	モリト株式会社	証券コード	9837
株式上場	東証プライム市場	単元株数	100株
決算期	11月末	配当	年2回

本資料のお取扱いについて

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

モリト株式会社 社長室

〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-2-4

TEL : 06-6252-3559 / FAX : 06-6252-3483

E-mail : ir@morito.co.jp

MORITO

あたりまえに、新しさ。